

15. 薬剤師・薬局について

薬局の中には、薬について身近に相談できるかかりつけ薬剤師・薬局に加え、入退院などで療養環境が変わっても、医療機関等と薬の情報を共有して途切れることなく対応できる「地域連携薬局」や薬以外の健康に関する相談に応じる「健康サポート薬局」があります。

また、山口県独自の取組として、地域において薬学的な健康サポート*を行う「山口県健康エキスパート薬剤師」を登録・公表しています。

※薬学的な健康サポートとは

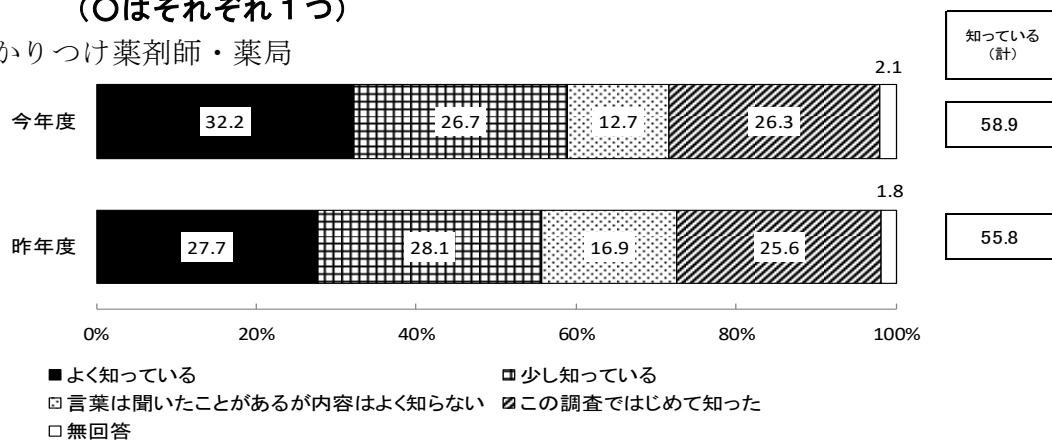
身近な薬局・薬剤師が、学術的な知識、経験などを活かした相談対応、県民が自ら行う健康管理への助言、受診勧奨などの総合的な支援を行うことです。

15-1. 薬剤師・薬局に関する取組の認知度

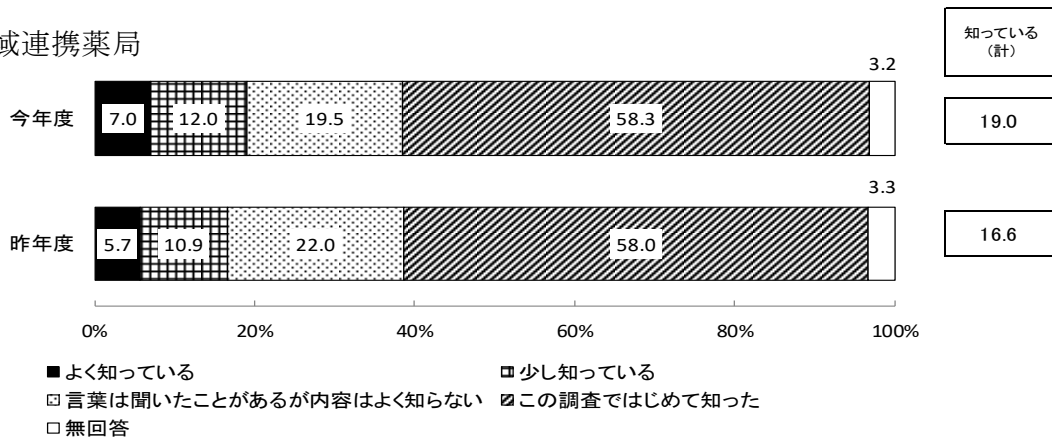
Q15-1 これらの薬剤師・薬局に関する取組について知っていましたか。

(○はそれぞれ1つ)

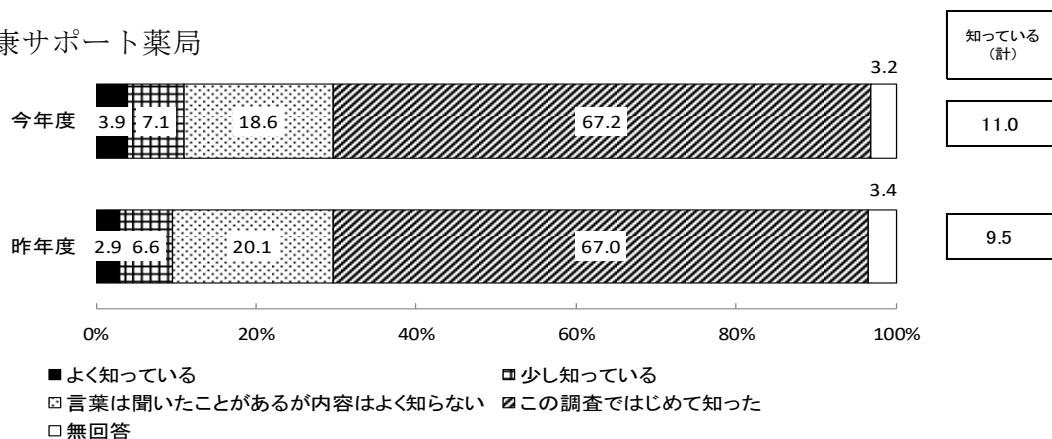
(1) かかりつけ薬剤師・薬局

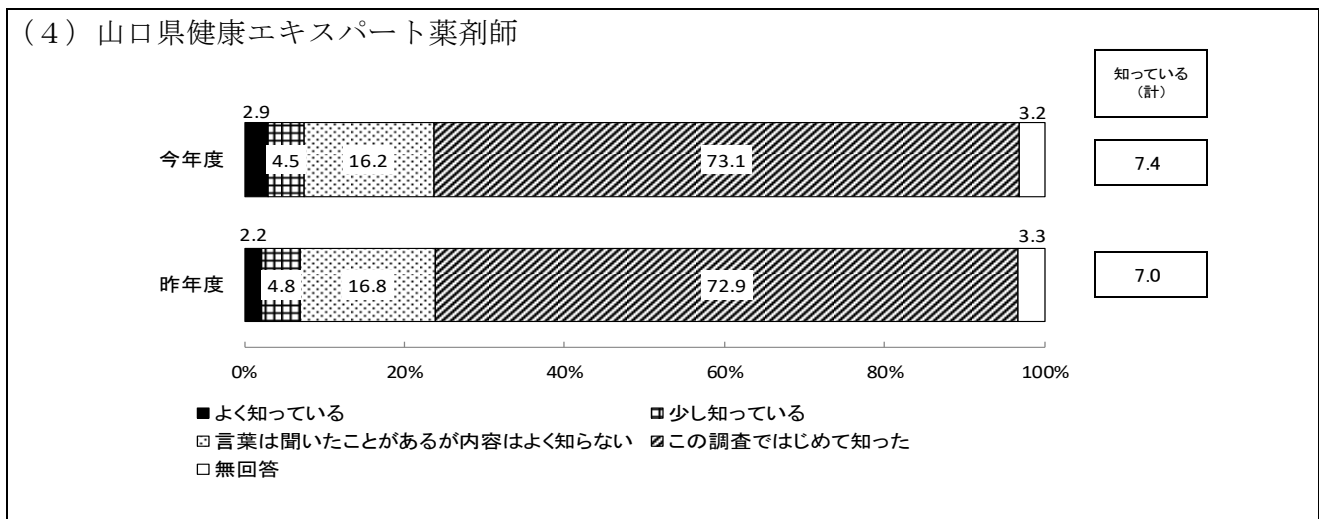


(2) 地域連携薬局



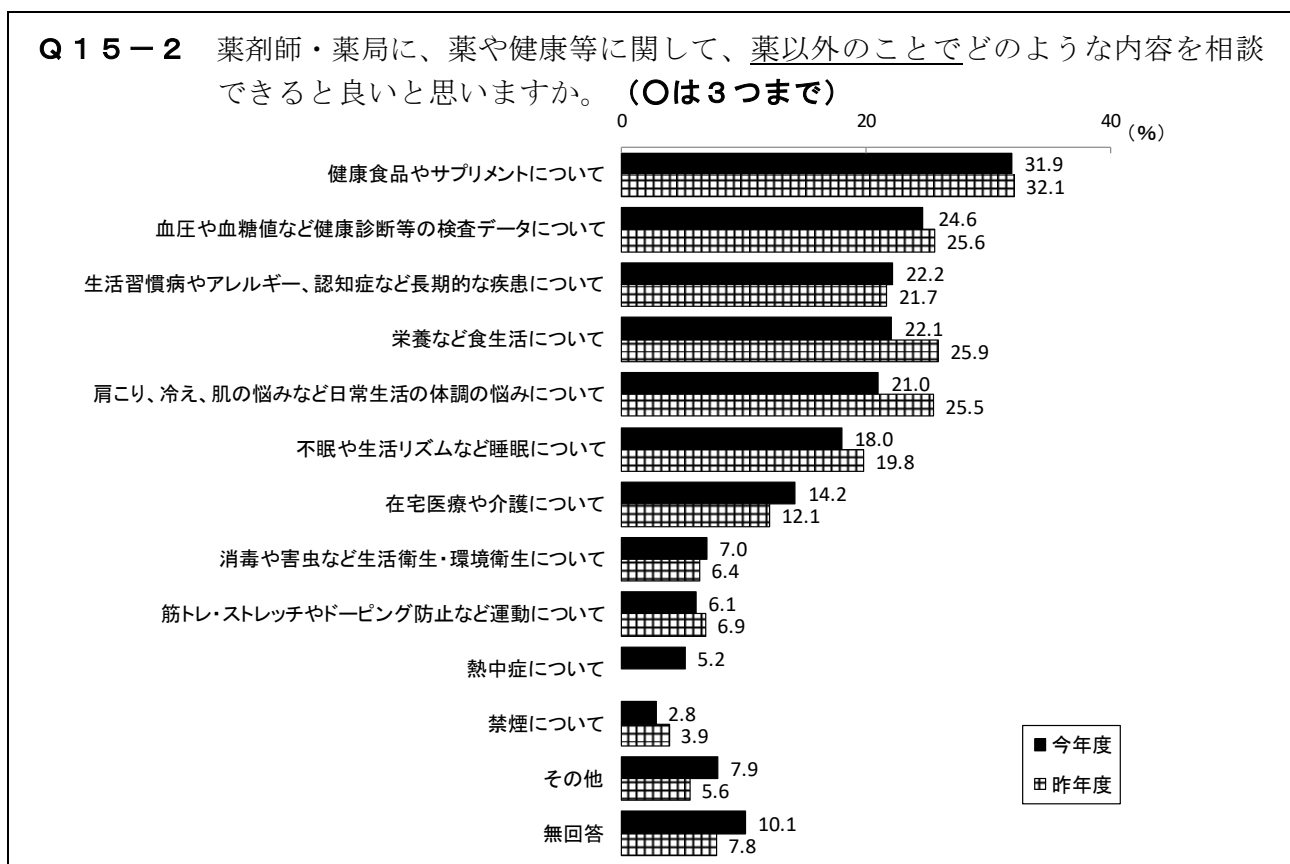
(3) 健康サポート薬局





薬剤師・薬局に関する取組の認知状況について、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている(計)』の割合は、「1. かかりつけ薬剤師・薬局」が58.9%と最も高く、次いで「2. 地域連携薬局」が19.0%の順となっており、昨年度と比較すると、「1. かかりつけ薬剤師・薬局」が3.1ポイント、「2. 地域連携薬局」が2.4ポイントそれぞれ上昇している。一方、「この調査ではじめて知った」の割合は、「4. 山口県健康エキスパート薬剤師」が73.1%と最も高く、次いで「3. 健康サポート薬局」が67.2%となっており、昨年度と同程度で推移している。

15-2. 薬や健康に関して、薬以外のことで相談できると良いと思う内容



※選択肢「熱中症について」は今年度新設のため、昨年度のデータはありません。

薬や健康に関して相談できると良いと思う内容について、「健康食品やサプリメントについて」が31.9%と最も高く、次いで「血圧や血糖値など健康診断等の検査データについて」が24.6%、「生活習慣病やアレルギー、認知症など長期的な疾患について」が22.2%、「栄養など食生活について」が22.1%、「肩こり、冷え、肌の悩みなど日常生活の体調の悩みについて」が21.0%の順となっている。昨年度と比較すると、「在宅医療や介護について」は2.1ポイント上昇し、「肩こり、冷え、肌の悩みなど日常生活の体調の悩みについて」が4.5ポイント、「栄養など食生活について」が3.8ポイントそれぞれ低下している。